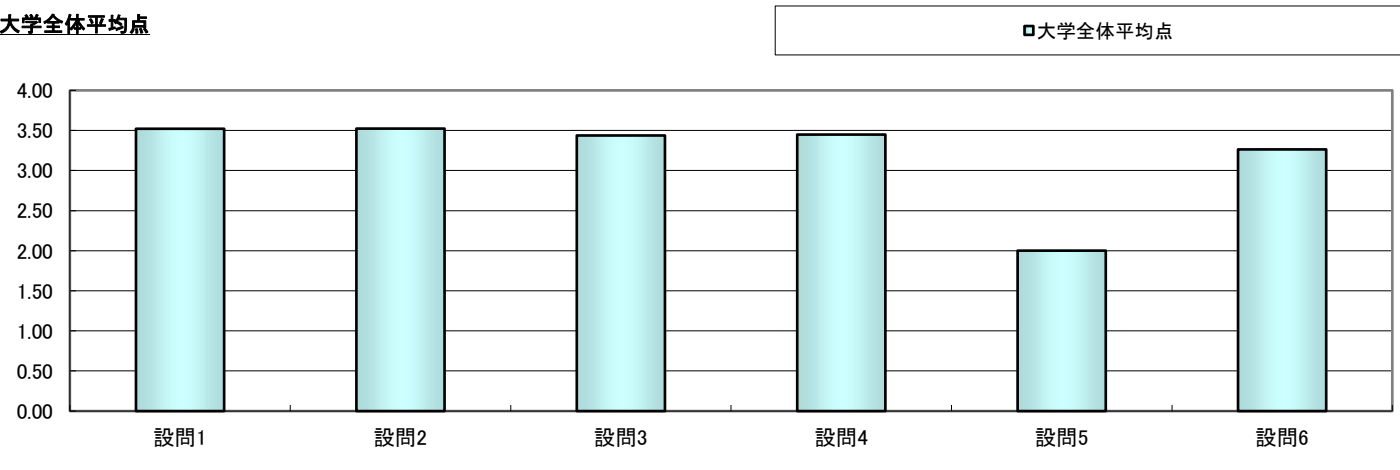


集計	大学
----	----

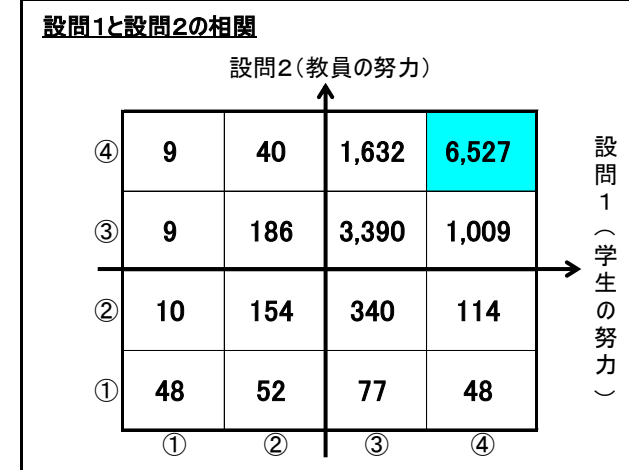
履修人数	16,433
回答者数	13,645

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.52	7,698	5,439	432	76	0	13,645
			56.4	39.9	3.2	0.6		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.52	8,208	4,594	618	225	0	13,645
			60.2	33.7	4.5	1.6		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.44	7,455	4,999	897	294	0	13,645
			54.6	36.6	6.6	2.2		
4	学修環境(通信環境や受講環境への配慮)は適切に保たれていましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.45	7,210	5,538	708	189	0	13,645
			52.8	40.6	5.2	1.4		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	2.00	667	2,306	7,048	3,624	0	13,645
			4.9	16.9	51.7	26.6		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.26	4,788	7,831	863	163	0	13,645
			35.1	57.4	6.3	1.2		

大学全体平均点



設問1と設問2の相関



区分	大学
----	----

## 改善計画等

アンケート結果を踏まえて

全体の延べ回答数が13,645人で第一象限が12,558人で92.03%、第2象限は244名で1.79%、第3象限は264名で1.93%、第4象限は579名で4.24%であった。教員は努力している(第1象限+第2象限)との回答は12,802名で93.82%、学生自身は努力している(第1象限+第4象限)は13,137名で96.28%となっている。

松本大学の学生数を1,700人とすると、第1象限は1,565人、第2象限は30人、第3象限は33人、第4象限は72人に対応する。この人数が実際の学生数に正確に対応している訳ではないが、回答傾向の概要を把握する上ではそれなりの意味があるだろう。

今年度前期に関しては、ある学部では殆どがオンライン授業、また別の学部では実験・実習・実技系が対面であったが他はオンライン授業となっていたため、例年のこのアンケート調査結果とそのまま比較することには無理があるが、逆に言えば新形式での授業とこれまでの授業との間で顕著な差が見られれば、それが何に由来するのかを考えることも重要になってくる。

さて、今期についても例年と同様の傾向が見られる。第一象限は「教員は情熱を持って講義に当たり、学生も聴講に努力している」という理想的な授業が実施されているため、高い満足度を示す指標と考えられるが、これが92%にも達しており、満足できる到達レベルにあると判断できる。「学生にやる気がない」とよく教員にぼやかれるが、学生自身はわずか3.7%しかそのようには思っていない。それよりも、「教員の方が熱意を持って授業に臨んでいない、あるいは学生の要望に合った授業がなされていない」と感じている割合の方が高く、6.2%にもなっている。「学生はやる気を出しているのに、教員の熱意は感じられない」とする最悪の回答は4.2%で、学生数では1700人中72人も存在することになる。

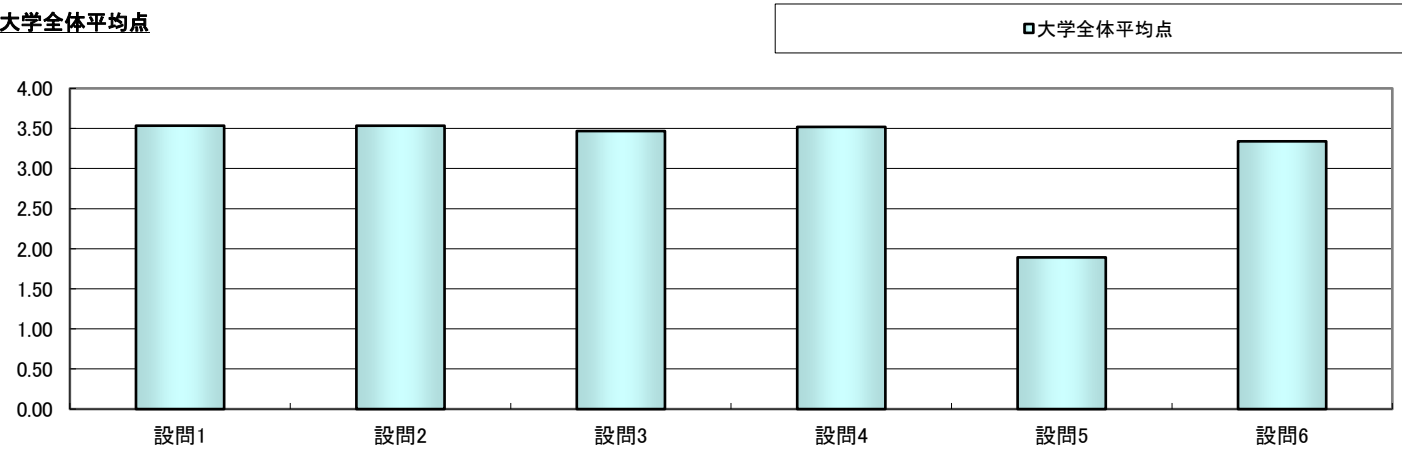
以前から指摘しているように、この数値は退学予備軍とも考えられるため、この種のアンケートでは特に注意を払う必要がある。アンケートを実施することによって、授業の改善を図ることが目的とすれば、この象限の割合を小さくすることが主要テーマと言っても過言ではない。学生の所為に帰することはできないというのがアンケート結果であるため、教員個々人が学生の状況を知り、その期待にいかに応えるかが問われている。本学が他大学とは違い、学生ファーストの姿勢を明確にし、その存在意義を内外に認識してもらえるかどうかと問われていると言い換えることもできる。

集計	大学
----	----

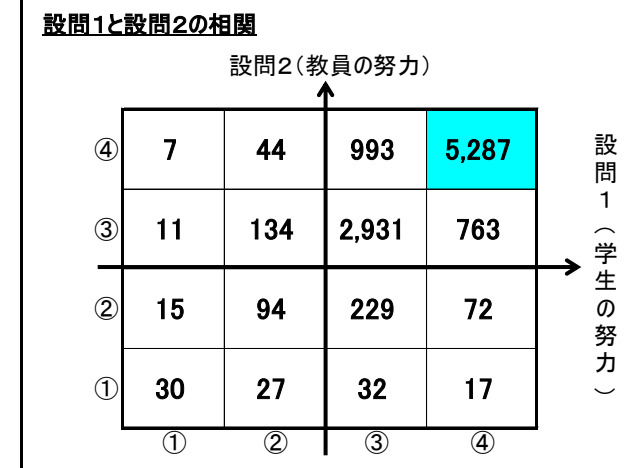
履修人数	16,503
回答者数	10,686

設問	設問文	平均点	回答数(人)／回答率(%)				無効回答	有効回答
			④	③	②	①		
1	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.53	6,139	4,185	299	63	0	10,686
			57.4	39.2	2.8	0.6		
2	学生に理解させようとする教員の熱意・意欲を感じましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.53	6,331	3,839	410	106	0	10,686
			59.2	35.9	3.8	1.0		
3	この授業は内容がよく理解できるように工夫・配慮されたものでしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.47	5,919	3,997	619	151	0	10,686
			55.4	37.4	5.8	1.4		
4	学修環境は適切でしたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.52	6,209	3,925	445	107	0	10,686
			58.1	36.7	4.2	1.0		
5	授業時間以外で、この科目の授業1回当たりの平均的な学修時間はどの程度でしたか。(学修時間には、予習・復習・課題のほか、レポート課題作成、プレゼンテーションの発表準備、休み時間に関連事項のディスカッションをした、通学時間に関連事項を検索したなど全て含みます。) ④4時間以上 ③2～4時間未満 ②30分～2時間未満 ①30分未満	1.89	533	1,533	4,868	3,752	0	10,686
			5.0	14.3	45.6	35.1		
6	あなたはこの授業において、シラバスに示されている学修到達目標を達成できましたか。 ④そう思う ③ややそう思う ②あまりそう思わない ①そうは思わない	3.34	4,364	5,698	512	112	0	10,686
			40.8	53.3	4.8	1.0		

大学全体平均点



設問1と設問2の相関



区分	大学
----	----

改善計画等
-------

全体的には妥当な数字であると思われる。その一方で、①回答者が履修者の65%弱であること、②設問5の時間外学修の少なさが際立っていること、③設問1と設問2の相関を見た時、第3象限に回答者の1.5%の学生がいることなど、毎回指摘される（せなばならない）問題がある。おそらく、この種のアンケートの課題は、そうした点についてどのようにして実態を分析し、その対応策を策定し実施するのかということであると思われる。その手始めとして、来年度は、まずアンケート回答者数の増加に取り組むべく努めたい。